

福岡歯科大学・咬合修復学講座・冠橋義歯学分野

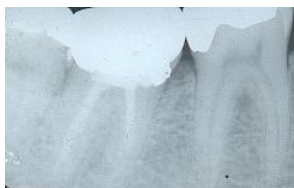
—難症例の患者を助ける歯科医師と一緒に目指しませんか！—

大学病院を受診する患者様は、一般の開業医で手を施せないほどの難症例であることが少なくありません。日本補綴歯科学会認定の補綴専門医研修施設である福岡歯科大学・冠橋義歯学分野は、そのような患者を助ける器のある歯科医師の育成を使命と考えています。一般開業医が治せない患者様を救う開業医あるいは大学臨床医を本気で目指すなら、本分野は格好の鍛錬の場となるでしょう。

◆「木を見て森を見ず」ではなく、「木を見て森を見る」かつ「森を見て木を見る」。

「木」: 1本の歯のレベル、「森」: 歯列・咬合レベル、顎機能レベル、ヒトレベル(生活習慣、価値観など)

➤ 骨縁下穿孔に起因する違和感と垂直的骨欠損を解消し、長期的予後を獲得した症例



近心の穿孔と骨吸収



矯正挺出による骨欠損の解消

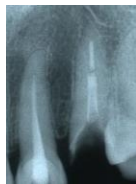


歯冠延長(歯槽骨削合)



8年経過後

➤ 骨縁下歯質欠損歯を外科挺出により生物学的幅径とフェルールを回復させた症例



骨縁下歯質欠損歯(歯肉被覆)



外科挺出



フェールの付与



歯冠修復

➤ 顎関節症を生活指導で解消した後、咬合不全を咬合再構成で改善した症例



咬合不全と顎関節症は別物



診断用ワックスアップとプロビジョナルレストレーション

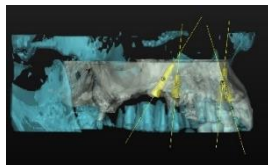


3年経過後(安定した咬合)

➤ デジタルテクノロジーを駆使したフルマウスリコンストラクション症例



プロビジョナルレストレーション



インプラント埋入シミュレーションと埋入手術



3年経過後(安定した咬合)

◆ 多種多様な病態を呈する患者の治療を補綴学的、包括的、口腔医学的見地から追及する分野です。

多くの患者の治療成果を良好なレベルに引き上げるには、病因・病態に対する広範な見識、精度の高い治療技術、患者様に対する真摯な、誠実な姿勢が培われなければなりません。冠橋義歯学分野に入局するなら、まず本気で補綴専門医レベルになりたいと思ってください。多くの難症例はその病因が明らかでないために難治性なのであり、今後分子レベルでの生物学的研究の成果がそのメカニズムを徐々に明らかにしていくものと推測されます。もし、最先端のプロフェッショナルになり、多くの患者を治したいと本気で考えるなら、まず大学院に入り、リサーチマインドを培う鍛錬をすることをお勧めします。冠橋義歯学分野にはこれらの能力を全て培う環境があります。

結局、あなたの夢、目標を達成するのに一番大事なものは、あなたの本気な思いなのです。